

柴又左折事故から40年 あらためて交通安全誓う

昭和五十三年九月二十七日、東京・柴又の京成金町線沿いにある交差点で、幼稚園児二人を荷台に乗せた母親の自転車が、左折するダンプに巻き込まれ三人とも即死するという痛ましい事故が起こりました。ダンプ運転者は組合員でした。

ときは高度成長期、上げました。

大型車の左折事故が多発し社会問題にもなっていました。柴又左折事故は大きく取り上げられることになりました。組合弁護士は、従来運転手の不注意として済まされてきた左折事故を科学的に検証し、大型車特有の「死角」の問題を正面から取り

失を軽減し執行猶予付き判決に減刑しました。また、裁判長は組合、弁護士が主張してきた国とメーカーの責任について、「大型車には構造上広範な死角が認められ運転者に過大な負担をさせないよう死角解消の対策を進めるべきだ」とはじめて言及しました。柴又左折事故は国や自動車メーカーが、大型車の安全対策を本格的に取り組み契機になりました。組合は市民団体、関係者らと左折事故対策協議会をつくり、労働者の立場から、より安全な車両をめざして提言、事故後



国、自動車メーカーの責任に言及した東京高裁判決の報道(昭和58年5月)

最新の死角対策車



この状態で左にハンドル、ウインカー操作をすると赤点滅し警報音が

三菱ふそうの「新型スーパープレート」は、死角になる車体左下に人や自転車が入ると、左ピラーに設置したランプが点灯し運転者に知らせます。大型全車に装着義務を！



現在の事故現場。40年目の朝、組合代表で献花黙とう。

尊い犠牲を払って進められてきた車体の安全対策を、運転者ひとり一人が自覚して、全運転に心がけることが求められています。

県道の危険木伐採に取り組む



空き缶やペットボトルなどゴミの投棄も目立ちました。

葛生町から藤坂砕石工場前を通り栃木市岩舟町に抜ける県道は、周囲の樹木が道路上に進入し危険な状態になっています。

大型の交通量が多く、組合では県栃木土木事務所に伐採を要請してきました。

土木事務所では草刈り作業は行いましたが、大型車のキャビンやプロテクターに接触する道路上部の枝等については、地権者との関係などもあり、すぐに着手することが困難な状況でした。

組合では土木事務所と協議し、危険な箇所に限定し組合員が無償で伐採作業することを承認していただきました。

一〇月十四日、二十一日、ダンプ支部工藤委員長をはじめ役員約十二名が参加し伐採作業に取り組みました。

みんな普段からダンプで走っている道路であり、危険箇所は熟知しています。しかし、すべての危険箇所を伐採するのは到底不可能です。計九か所場所を限定して行いました。作業は危険かつ困難なものとなりました。

長年放置された林は、が切除できません。周囲に堆積された排ガスでおり、ツルが幾重にも絡まった状態です。急斜面をよじ登りチェンソーで上部から伐採してもなかなか支障木動に取り組みます。

引き続き事故防止活動に取り組みます。

【県本部第二〇〇回定期大会開催】

一〇月十四日、組合事務所では建交労栃木県本部第二〇〇回定期大会を代議員など二八名が参加し開催しました。

来賓の栃木県労連阿波長次議長は「沖縄県知事選挙の勝利など、情勢は大きく動いている。各種世論調査でも安倍内閣が進めようとしている憲法改正が国民の支持を得ていないことは明らか」と、来年の参議院選挙にむけて、県内でもさらに市民・野党共闘を進展させようと呼びかけました。

山内委員長は県本部の組合員数について「多くの組合員の協力で現状を維持しているが、今後高齢化による組織減は避けられず、今期はいままでとは違う組合員拡大の取り組みが求められている」と認めました。

石井書記長は運動方針で、より活力ある組合活動に取り組むため、職場支部をダンプ支部の分会として編入するなど組織再編を提案しました。

各組織から代議員が発言、健康管理も重要な活動であることを確認しました。

「石とダンプの町」

と呼ばれた葛生町の激変が数字でも明らかになっています。使用者数と車両数が違つのは、一人(一社)で複数車両を所有しているケースがあるからです。

変化に対応した組合に次いで少なく、かつが求められています。

と協力を訴えました。

と協力を訴えました。

と協力を訴えました。

と協力を訴えました。

と協力を訴えました。

と協力を訴えました。

と協力を訴えました。

古い自動車への増税に納得しない男の進行形連載 自動車税払わん⑥

「組合のニュースはつまらないけど、自動車税払わん。俺の乗用車も来年増税になるから参考に」。この組合員も払わずに異議の申し立てを考えているそう。すばらしいことだ。各都道府県で二人から三人審査請求を申し立てれば「自動車グリーン税制」は改正できると思います。

重要なお知らせ

お手数でも、シールをはがして中をご覧ください。ご覧いただけなかった場合の不利益は当所は一切関知いたしません。

あなたが納めるべき自動車税は、すでに納期限が過ぎています。最寄りの金融機関又は県税事務所の窓口にて納付してください。

納付期限：平成30年9月28日(金)

順次財産の差押執行中です。

納付期限前でも、財産を発見したい差押を執行いたします。

「差押やるやる詐欺」みたいな状況

なぜなら、審査請求が行われた場合、ご希望の方にはお送りします。(車検が人質だけ)



大型ダンプ	使用者数	車両数
東京	2,609	7,548
神奈川	3,656	8,939
埼玉	3,026	7,907
茨城	4,202	7,637
千葉	4,055	10,086
群馬	2,378	4,496
栃木	2,242	4,991

平成29年末国土交通省自動車局統計

安倍政権は沖縄辺野古沖基地建設を強行するため、防衛相が国交省に審査請求を申し立てました。行政不服審査法は「国民の権利救済」が目的です。国が「私人」になりすまして審査請求するのは法の乱用です。

ユーチューブ「石とダンプの町」で検索してください。昭和48年当時の葛生町とダンプが見られます。